

AI活用型 特許翻訳・英文明細書作成サービス

AIの能力を最大限に引き出し、低コストで高品質な外国出願用英文を作成します

生成AIは、文章の意味を理解し、文脈に応じた自然な英文を作成する能力に優れています。しかし、特許明細書は数十ページに及ぶ特殊な技術文書です。単に明細書全体をAIに入力するだけでは、AIの能力を十分に活用できず、またAI特有の問題が生じる可能性があります。弊所では、AIの強みを活かし、弱みを補完するため、特許翻訳に最適化された3段階の翻訳プロセスを採用しています。これによって、従来、人手により行われていた英文作成工程の一部をAIにより効率化し、審査過程や権利範囲に影響する部分については弁理士が確認することで、高い品質とコスト低減の両立を図っています。

特許翻訳に最適化された「3段階の翻訳プロセス」

STEP 1 技術単位でのセクション分割

AI翻訳の品質を高めるためには、AIが文章の意味や技術的關係を十分に解析できる状態で翻訳を行うことが重要です。しかし、特許明細書のような大量の文章を一括処理すると、技術的に重要な情報への着目が不十分となり、以下のような事象が生じる場合があります。弊所ではセクション分割を採用することで、これらに対応しています。

| ■ AI一括処理によるリスク | ■ セクション分割による効果 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 技術的文脈に適さない表現選択 細かな限定事項の欠落 原文とは異なる意味への変化 | <p>弊所では、技術的なまとまりを考慮した適切なボリュームのセクションに分割します。これにより、各セクションに対してAIによる十分な文脈解析を可能にし、AIが得意とする高精度な英文生成能力を最大限に引き出すことで、技術的に適切な翻訳を行います。</p> |

STEP 2 日英用語対応表による翻訳制御

一方で、AIは文脈に応じて最適な表現を選択する性質があるため、同一概念であっても異なる英語表現が選択される可能性があります。そのため、セクション間で同一概念に対する訳語が揺れる場合があり、これは審査過程や権利解釈で問題を生じる可能性があります。弊所では用語対応表を採用することで、これらに対応しています。

| ■ AI単独によるリスク | ■ 用語対応表による効果 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 同一概念に対する訳語の揺れ・不統一 | <p>弊所では、翻訳前に日本語明細書から技術用語を抽出し、この技術用語に対応する英語表現を技術的文脈に即して選定することで、明細書全体で統一して使用する日英用語の対応関係を設定します。そして、この日英用語の対応関係を全てのセクションに適用し、明細書全体を貫く「翻訳ルール」とすることで、用語の一貫性を確保します。これにより、「セクション単位での深い文脈解析」と「明細書全体での用語一貫性」を両立しています。</p> |

STEP 3 外国出願実務に精通した弁理士レビュー

生成AIの最大の特徴は、単語を置き換えるだけでなく、文章の意味を推論して自然な英文を作成できる点にあります。この能力により、従来型の機械翻訳では難しかった複雑な係り受けや技術的文脈を踏まえた翻訳が可能となりました。一方で、AIが意味を推論するからこそ、以下のような事象が発生する場合があります。弊所では弁理士レビューによって、これらに対応しています。

| ■ 生成AIの推論に伴うリスク | ■ 弁理士による品質管理 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">技術的には自然でも審査過程や権利範囲に影響する表現変更原文にはない内容の補完細かな限定事項の欠落 | <p>弊所では、外国特許実務に精通した弁理士が、以下のポイントを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none">原文の技術内容が正確に反映されているか不要な限定や意味の変更が生じていないか原文にない内容の追加や翻訳抜けがないか請求項と明細書との対応関係が維持されているか出願国の特許実務に適した表現になっているか原文との逐語的な対応関係が維持されているか（PCT国内移行） |

■ AIによる効率化 × 弁理士による品質管理

弊所のAI英文明細書作成サービスは、単に人の作業をAIに置き換えるものではありません。AIが得意とする英文生成能力を最大限活用しつつ、AI単独では困難な用語の一貫性管理を行うとともに、審査過程や権利範囲に影響する表現の適否を弁理士が判断します。これによって、従来の特許翻訳に求められる品質を確保しながら、短納期・低コストでの英文明細書作成を実現します。

■ 英文明細書作成料金

| 区分 | 料金（1ワードあたり） |
|------------------------|-------------|
| ベースとなる日本語明細書が弊所作成の場合 | 20円(税別) |
| ベースとなる日本語明細書が他事務所作成の場合 | 20～25円(税別) |

※ 他事務所作成の場合は、日本語明細書の状態、技術分野等に応じて、上記範囲でお見積りします。

※ 上記料金は英文明細書作成に係る料金です。外国出願をご依頼いただく場合は、出願手続きに係る弊社手数料および現地代理人費用、各国庁費用等は別途申し受けます。

※ 日本語原稿受領から納品まで1週間を切る案件については、緊急対応費用を別途申し受ける場合がございます。

■ 情報管理・セキュリティ

弊所では、特許情報の機密性を考慮し、生成AIの利用について慎重な運用を行っています。未公開案件の翻訳については、お客様の生成AI利用ポリシーを確認させていただいた上で、入力情報がAIモデルの学習・改善に利用されない法人向け生成AI環境を利用し、上記サービスを提供いたします。